

総合閉会式

開催日 令和4年11月15日(火)
会場 横須賀芸術劇場



総合閉会式は、神奈川県が誇る「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」の演奏とともに、4日間の大会を映像で振り返る「大会メモリアル映像」と今大会が初となる47都道府県と20政令指定都市の選手団を映像で紹介する「選手団紹介映像」を上映しました。

式典では、登壇者紹介の後、主催者を代表して、大会会長の神奈川県知事、厚生労働事務次官があいさつしました。

その後、大会旗は次期開催地の愛媛県に引き継がれ、愛媛県副知事から「ねんりんピック愛顔（えがお）のえひめ2023」への抱負が述べられました。続いて、アトラクションとして、ミュージカル「伊予の国 坊っちゃん劇団」が披露され、次期開催地での大会開催をPRしました。

グランドフィナーレでは、歌手の中村雅俊さんと神奈川フィルハーモニー管弦楽団の共演によるステージで、会場全体が大きな感動に包まれる中、総合閉会式は終了し、4日間の神奈川・横浜・川崎・相模原大会は幕を閉じました。

プログラム

- 大会メモリアル・選手団紹介映像及びメインアトラクション
 - *開式通告
 - *大会メモリアル映像
 - *選手団紹介映像
- 式典
 - *登壇者紹介
 - ・大会会長（神奈川県知事）
 - ・一般財団法人長寿社会開発センター理事長
 - ・横浜市副市長 ・川崎市副市長
 - ・相模原市長 ・厚生労働事務次官
 - ・スポーツ庁健康スポーツ課長
 - *主催者代表あいさつ
 - ・大会会長（神奈川県知事）
 - ・厚生労働事務次官
 - *大会旗引き継ぎ
 - *次期開催地代表あいさつ
- 次期開催地アトラクション
 - *ミュージカル「伊予の国 坊っちゃん劇団」
- グランドフィナーレ
 - *中村雅俊さんと神奈川フィルハーモニー管弦楽団の共演によるステージ
 - *閉式通告

大会メモリアル・選手団紹介映像及びメインアトラクション

第1編
第5章





式典

主催者代表あいさつ



神奈川県知事
黒岩 祐治

全国から1万人を超える選手の皆様にお集まりいただきました、第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会「ねんりんピックかながわ2022」の総合閉会式を迎えることができました。

神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏によって、この大会を振り返ることができました。私も観ていて、胸が熱くなる思いがしました。とてもいい大会だったと思いますが、皆様いかがでしたでしょうか。

ボランティアの皆さんをはじめ、様々な方が全国からの皆さんをおもてなしの心でお迎えしようと、ずっと努力をしてきました。

そのような中、私もいくつかの会場を回りましたが、そ

こには、皆さんの素晴らしい笑顔がありました。そして、その笑顔をみんなで応援しようという笑顔も広がっていました。

今回の大会は、「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔～未病改善でスマイル100歳～」が大きなテーマでしたが、皆様のおかげをもって、まさにそのとおりの大会になったと思っています。心から感謝申し上げます。

皆様は、これまでは競技そのものに全力を注いでくれたでしょうけれども、ここからは神奈川をもっともっと楽しんでいただきたいと思います。神奈川には素敵な観光名所がたくさんありますし、ちょうど今やっている「鎌倉殿の13人」に関わる所がたくさん、この地域にもありますので、ぜひそれぞれの場所を歩んでいただきたいと思います。

来年の第35回大会は、愛媛県において「ねんりんを重ねた愛顔 伊予に咲く」をテーマに開催されます。この神奈川での皆さんの笑顔を、今度は愛媛県にお届けしたいと思っていますので、また、そこで、皆さん同士が交流を深め合えることを祈念しながら、私のあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。



司会の照井七瀬さんと手話通訳者



ステージ両袖に掲げられた県旗・政令市旗



厚生労働事務次官
大島 一博

「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔」のテーマのもと、4日間にわたり繰り広げられました「第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会」が、新型コロナウイルスの感染拡大による大会延期・中止といった困難を乗り越え、大盛況にて実施され、本日閉会を迎えることとなりました。

全国から参加された皆様、日頃の練習や活動の成果を十分に発揮され、多くの方々に元気と感動を与えられたことに対し、主催者の一人として、深く敬意を表します。

本大会におきまして、優秀な成績を挙げ表彰を受けられた皆様に、心からお祝いを申し上げますとともに、惜しくも入賞に至らなかった皆様にも、その御健闘、御努力に対しまして、心からの称賛をお送りいたします。また、皆様お一人おひとりが、感染症対策の徹底に御協力いただきま

したことに、主催者を代表して御礼申し上げます。

御参加の皆様におかれましては、本大会を通じて様々な出会いや貴重な経験など、いつまでも心に残る輝かしい思い出ができたのではないかと思います。是非、今大会の経験を活かしながら、地域に戻られましても、より一層の御活躍をされますよう、期待いたしております。

また、このような素晴らしい大会を長期間に渡り準備し、大成功に導かれた黒岩神奈川県知事、山中横浜市長、福田川崎市長、本村相模原市長をはじめ、開催市町、関係団体、ボランティアの皆様、そして選手の活躍に温かい声援を送っていただいた観客の皆様など、大会を支えていただいた全ての皆様に対しまして、心から感謝を申し上げます。

このねんりんピックは、昭和63年の第1回兵庫大会から、今年のかながわ大会で34回を迎え、全国的に定着し、活力ある長寿社会の形成だけでなく、地域の活性化にも大きく貢献する魅力的な大会に発展しました。

来年度は、「ねんりんを 重ねた愛顔 伊予に咲く」のテーマのもと、愛媛県で開催されます。大会に関わる全ての皆様が笑顔の花を咲かせ、交流の輪が広がる大会となることを御期待申し上げます。

結びに、神奈川県のみならず御発展と、本大会に御参加いただきました皆様及び関係各位の益々の御健勝を祈念いたしまして、閉会の挨拶といたします。

登壇者紹介



一般財団法人
長寿社会開発センター理事長
高井 康行



横浜市副市長
城 博俊



川崎市副市長
伊藤 弘



相模原市長
本村 賢太郎



スポーツ庁健康スポーツ課長
和田 訓

次期開催地代表あいさつ



愛媛県副知事
八矢 拓

次期開催地の愛媛県を代表して、一言御挨拶申し上げます。
本日、「ねんりんピックかながわ2022」が大成功のうちに閉会を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。
これもひとえに、黒岩知事をはじめとした関係者の方々、そして多くの神奈川県民の皆様の御尽力のたまものであり、深く敬意を表します。
また、全国から参加された選手・役員の皆様方にとって、神奈川県歴史や文化、心のこもったおもてなしにふれ、いつまでも思い出に残るすばらしい大会になったことと存じます。
いよいよ来年10月には、愛媛県において「ねんりんピック愛媛のえひめ2023」を開催いたします。

先ほど、黒岩知事からねんりんピック大会旗を引き継がせていただき、歴史ある旗の重さをひしひしと感じ、身の引き締まる思いがしております。

えひめ大会では、「ねんりんを ^{えがお}重ねた愛顔 伊予に咲く」をテーマに、ねんりんピックの正式種目として初の採用となるバドミントンをはじめ、軟式野球やサイクリングなど29種目のほか、オリジナルイベントの「eスポーツオンライン大会」等の実施に向けて、現在準備を進めております。

本県は、多島美の瀬戸内海や西日本最高峰の石鎚山、日本最古といわれる道後温泉、「サイクリストの聖地」である瀬戸内しまなみ海道、全国一の生産量を誇るかんきつ、マダイ等の山海の幸など、多彩な魅力にあふれております。古来、四国遍路文化でつちかわれてきた「お接待」の心による愛媛ならではのおもてなしで皆様をお迎えいたしますので、たくさんの方々に御来県いただければ幸いに存じます。

終わりに、かながわ大会で多くの感動を与えていただいた選手の皆様、並びに大会を成功に導かれた関係者の方々の、今後ますますの御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。次期開催地の挨拶といたします。



次期開催地アトラクション



坊ちゃん劇場によるミュージカル「伊予の国 坊ちゃん劇団」

グランドフィナーレ



第
1
編

第
5
章



中村雅俊さんと神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演によるステージ